

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	04 04 04	中期総合計画主要施策番号	3-02	担当課	部・課	健康福祉部医療推進課 医師確保対策室	
事業名	医学生修学資金等貸与事業			内線	2685		
				E-mail	doctor@pref.nagano.lg.jp		
実施期間	H18 ~	根拠法令等	長野県医学生修学資金貸与規程、長野県臨床研修医研修資金貸与規程				
実施方法	県が直接実施（医学生、臨床研修医への修学資金等の貸与）					国庫・ 県単	国庫補助事業・ 県単独事業

事業の概要等	目的 (必要性)	医学生等を対象とした修学資金等を貸与し、長野県内で医療に従事することを条件に貸付金の返済を免除することにより、将来県内の公立・公的医療機関等で勤務する医師の確保を図る。				
	対象	将来県内の医療機関で勤務する意思のある医学生及び臨床研修医				
	目指すべき姿	全国的な医師不足の中で、修学資金等の貸与を受けた医学生等が将来県内医療機関に勤務することにより医師不足の解消を図る。				
	事業内容	・医学生修学資金貸与事業：医学生に対して修学資金を貸与し、一定期間（貸与期間の1.5倍）県が指定する県内の医療機関に勤務した場合に返還を免除 ・臨床研修医研修資金貸与事業：産科・小児科等の特別プログラムを選択する臨床研修医に対して研修資金を貸与し、一定期間（貸与期間の2倍）県が指定する県内の医療機関に勤務した場合に返還を免除				

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 貸付金：219,600千円（医学生、臨床研修医） （一部地域医療再生基金事業）
	最終予算額（A）		千円	180,000	225,600	254,400	
	決 算 額（B）		千円	177,200	219,600		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	165,200	190,800	208,800	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	1.70	2.00	2.00	
		概算人件費（C）	千円	14,139	16,516	16,516	
	概算事業費（B(H24はA）+ C）		千円	191,339	236,116	270,916	

事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 修学資金貸与者等との面談を実施し、将来県内で就業するよう動機付けを行った。 (効率指標 算出式) 概算事業費/義務年限履行者数
	医学生修学資金等貸与者総数(活)		人	73	91	106	
	義務年限履行者数(成)		人	7	11	19	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 県内で勤務する医師の確保		千円/人	27,334	21,465	14,259	

事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	新たに25名に貸与し、貸与者総数を増やすことにより、将来県内の医療機関に勤務する医師を確保する。			信州大学医学部の定員増の条件とされた貸与者を含む24人に、新たに修学資金を貸与した。また、産科及び小児科医になることを目指す研修医を対象とした研修プログラムの研修医1名に新たに研修資金を貸与した。以上により、将来県内の医療機関に勤務する医師の確保につなげることができた。			b 期待どおり

事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の 説明	依然として県内の医療機関における医師不足が続く中で、中長期的に医師を確保し、県内の医師不足病院への配置を行う必要がある。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			

総合分析等	総合分析 (今後の課題、 取組方針等)	引き続き県内の医療機関の医師不足に対応するため、修学資金等の貸与により中長期的な医師の確保に努める必要がある。 また、貸与者に対しては長野県の医療についての理解を深め県内で従事する動機付けを行うとともに、医師としてキャリア形成を支援することが必要であり、信州医師確保総合支援センターの専任医師が相談等に対応するとともに研修会等を開催することとした。				
	特記事項	修学資金の貸与は、信州大学医学部及び東京医科歯科大学医学部定員増の条件となっている。 平成24年度は信州大学の優先枠を拡充した。				